

## サントリープロダクツ株式会社天然水北アルプス信濃の森工場

## ISO14068-1 カーボンニュートラリティレポート（エグゼクティブサマリー）

2025 年 6 月

サントリープロダクツ株式会社

サントリープロダクツ株式会社は天然水北アルプス信濃の森工場のカテゴリー1（スコープ1）ならびにカテゴリー2（スコープ2）のGHG排出量に対してカーボンニュートラルを実現し、BSI グループジャパン株式会社により ISO14068-1:2023 の検証を完了しました。2024 年度のカーボンニュートラリティレポートはサントリーグループのホームページでご確認いただけます。

[\(https://www.suntory.co.jp/company/csr/env\\_climate/pdf/iso14068-1.pdf\)](https://www.suntory.co.jp/company/csr/env_climate/pdf/iso14068-1.pdf)

## ◆情報概要

ISO14068-1 の宣言を行う事業者	サントリープロダクツ株式会社天然水北アルプス信濃の森工場
ISO14068-1 の対象	サントリープロダクツ株式会社天然水北アルプス信濃の森工場操業時の カテゴリー（スコープ）1 および 2 の排出量。 ※カテゴリー3～6（スコープ3）排出量の目標は、2030 年までにパリュー チエーン全体で排出量を 2019 年から 30% 削減するというサントリーグ ループ全体のコミットメント（SBTi 認定を受けたサントリー環境目標 2030）によってカバーされているため今回の対象範囲には含まれていませ ん。
実施された適合性評価の種類	ISO14068-1:2023（独立した第三者機関による検証-コミットメントと 達成の統一検証） I3P3 検証機関名：BSI グループジャパン株式会社
ISO14068-1 のベースライン日	2022 年 1 月 1 日
達成期間	2024 年（2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日）
コミットメント期間	2025 年（2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）

## ◆GHG 排出量

サントリープロダクツ株式会社天然水北アルプス信濃の森工場では 2024 年に第 2 ラインが増設されました。このため製造数量は 33% 増えましたが、以下の施策により GHG 原単位を 1% 削減しました（いずれもベースライン年比）。

- ・生産活動の条件の見直しによるエネルギーの無駄の削減
- ・ボイラー熱源の LNG から木質チップへのシフト

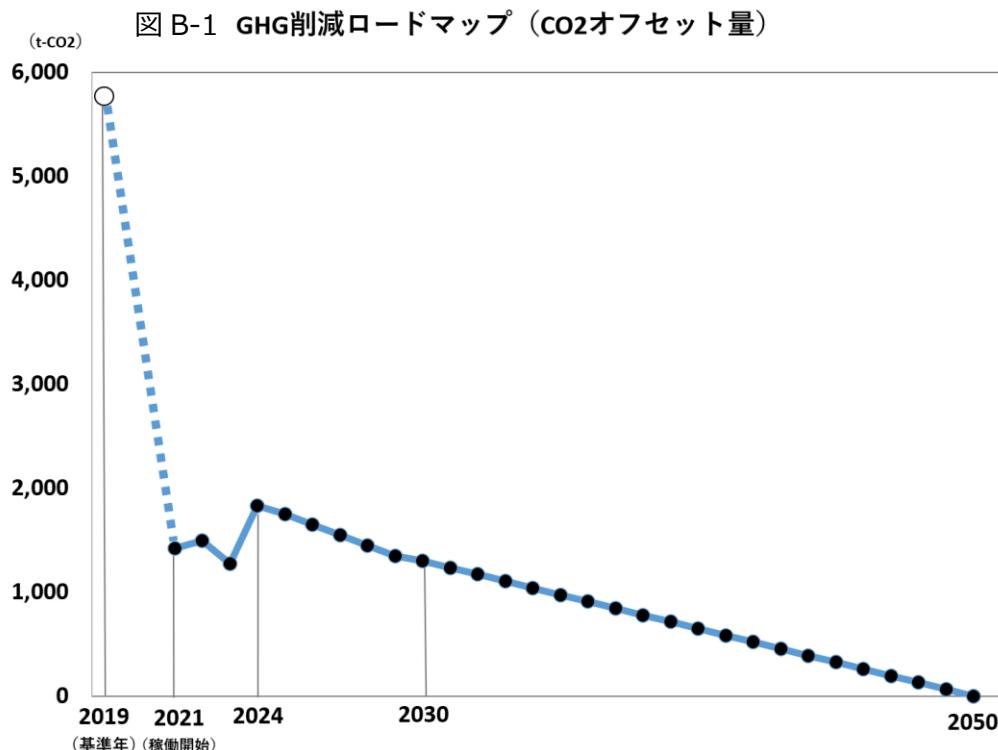
尚、施策導入前のため除去量はありません。

表 A-1 ベースラインとコミット対象期間の年間炭素排出量および差異・増減率

燃料	2022 年実績 (t-CO2e)	2024 年実績 (t-CO2e)	増減量 (t-CO2e)	増減率	2025 年見込 (t-CO2e)
GHG	1,385	1,826	441	32%	1,584
購入したオフセット	1,385	1,826	441	28%	1,584
ネットオフセット合計	0	0	0	-	0
製造数量(kl)	172,020	228,557	56,537	33%	305,000
GHG 原単位(t-CO2e/kl)	0.0081	0.0080	▲0.0001	-1%	0.0052

◆カーボンニュートラル達成のための Pathway

サントリープロダクツ株式会社天然水北アルプス信濃の森工場では、SBTi 認定を受けたサントリー環境目標 2030 ならびにサントリー環境ビジョン 2050 に沿った形でカーボンニュートラル達成のための Pathway を策定しており、以下の図 B-1 に図示します。



※2019 年は工場稼働前のため、GHG 削減施策を行わなかった場合として算出

※2024 年からBライン稼働開始に伴い、前年と比較しGHG排出量増加

◆カーボンオフセット

サントリープロダクツ株式会社天然水北アルプス信濃の森工場では、2024 年には表 A-1 に示すように当該工場の敷地内で発生する GHG を 100%カバーするカーボンクレジットを購入しました。これらのカーボンクレジットは、Verified Carbon Standard (VCS) により、二重計上が回避されていることが保証されています。